

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

絵による学び

文部科学大臣賞受賞



国内外から約10万点の作品が集まる第48回世界児童画展において、団体の部トップの文部科学大臣賞を受賞した陽の丘幼稚園（薄久保尚史園長）。個人の部でも、特選3人を含め10人が入賞という結果になりました。同園では、クラスの活動として週に1度、デザイン画や水彩画に親しんでいる他、遊びの時間の中で、毎日自由に絵を描く活動を行うなど、絵による学びを重視しています。

「子どもが子どもらしく、自由に表現できる喜びを経験させることが教育方針」と語る薄久保園長。幼児期は感覚が敏感な年齢で、経験したことをスポンジのように吸収することができる、といえます。また、幼児期は人目や評価を気にせず、自己表現をすることができる貴重な時期。「この幼児期にしかできない表現を大切にしたい」と薄久保園長は話します。

絵だけではなく、バイオリンや歌、英会話や自然教育などさまざまな活動にも取り組んでいるという同園。薄久保園長は「今後も今まで通り、のびのびと芸術に親しむことのできる環境を作り続けたい」と子どもたちの成長を願っています。



▲薄久保尚史園長

竹林町 陽の丘幼稚園

今回のゲスト



シェティ ラクシットさん
(インド)
インドムンバイ出身。平成28年より市内に在住し、自動車会社でエンジニアとして勤務。趣味は絵描きとエレキギター。日本に来て好きになった食べ物キョウチクトウは、唐揚げ、ラーメン、餃子。



1 宗円獅子舞を練習する子どもたち。宗円獅子舞は新里町に伝わる獅子舞で、市の指定の無形文化財です。2 ふるさと宮まつり当日の様子。市内最大の市民のお祭りは、毎年、多くの人でにぎわいます。宮まつりについて詳しくは、2ページをご覧ください。

「ふるさと宮まつり」について、8月12日(日)午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。



ページ番号
1014236

外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました 今回のテーマは「ふるさと宮まつり」

宮まつりに初めて行った時、太鼓やみこしなど日本の伝統が感じられてとても刺激的でした。そんな、さまざまな演目を見ることができ宮まつりですが、今回は宮まつりで披露される郷土芸能の一つ、「宗円獅子舞」の練習に行ってきました。

勇ましい獅子を表現するために、笛の音に合わせて大きくリズムカルに踊って太鼓を叩く子どもたち。インドとは、楽器も踊り方も違います。参加してみると、みんなで踊る楽しさもありましたが、踊りながら太鼓を叩くのが本当に難しく、宇都宮の子どもたちはすごいと思いました。

練習に参加して、地域の人や子どもたちの、伝統文化を伝えていきたいという思いが伝わってきました。宮まつりでは、宗円獅子舞をはじめ、宇都宮ならではの郷土芸能など、たくさんの演目を見ることができ、今年もぜひ見に行きたいです。

◎北宇都宮駐屯地(宇都宮飛行場) ■夜間飛行訓練 ▽期日 8月1～2・6～9・20～23・27～30日。時刻は午後9時ごろまでを予定しています。なお、天候などにより実施日・時刻を変更することがあります▽内容 ヘリコプターの飛行訓練。■その他 飛行場周辺(宇都宮市内)でのドローン、ラジコン飛行機などを飛行させることは、航空法により禁止されています。●陸上自衛隊北宇都宮駐屯地 ☎(658)2151

本文中に記載がないものは、原則として、対象どなたでも、費用は無料、申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HP ホームページ、Eメールアドレス、地区市民センター、出張所、生涯学習センター、参 二つのみや表参道スウェーア、三 地域コミュニティセンター、活 市民活動センター、傾 申込時に記載する基本項目は、催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。